

ENTREPRENEUR

MBA

INCUBATION

ENTREDESIGN

2020 - 2021

大学院案内

MBA Master of Business Administration

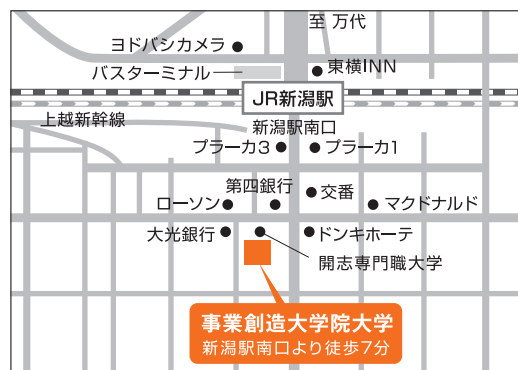
GRADUATE INSTITUTE
FOR
ENTREPRENEURIAL STUDIES

学校法人新潟総合学園 事業創造大学院大学

〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山3-1-46

TEL | 025-255-1250 FAX | 025-255-1251

MAIL | info@jigyo.ac.jp URL | http://www.jigyo.ac.jp



事業創造大学院大学

多くの人々が事業を起し、
自分のやりたいことで
いきいきと人生を送る。

そのような風土が日本にも
定着していくことが
重要です。



日本経済を取り巻く環境は、人口減少による潜在成長力の鈍化や経済のグローバル化などによって、かつてとは大きく変質してきています。新しく枠組みを変えつつある経済構造の中で企業活動の活力やダイナミズムを取り戻すことが、わが国経済の喫緊の課題になっています。長年教育事業に取り組んできましたが、企業社会にダイナミズムを復活させるために何ができるかを考えたとき、起業家や組織内事業創造を担い得る人材を育成することが使命だと強く感じました。

近年、起業家支援に力を注いできた中での実感ですが、まだまだ日本では起業家の育つ環境が整備されておらず、若い人達に、事業創造に必要な知識を学んでもらうことの必要性を常々感じていました。本学はそうした社会の要請に応えるべく創立されました。多くの人々が事業を起し、自分のやりたいことでいきいきと人生を送ることが当たり前になると、起業は就職に並ぶ、いえ、就職を超える職業選択の一つになるでしょう。そのような風土が日本にも定着していくことが重要です。

総長 池田 弘

NSGグループ会長、(株)アルビレックス新潟取締役会長。創業し、現在会長を務めるNSGグループは、教育事業と医療・福祉事業を中核に、検定・出版や飲食業、商社、広告代理店、建設業、不動産業、ゴルフ場、ホテル、アパレル、IT等の幅広い事業を展開する。アルビレックス新潟の初代社長として、地域密着型のビジネスモデルによるチーム運営で、屈指の観客動員を誇る人気チームに育てあげた。日本ニュービジネス協議会連合会会長。新潟経済同友会特別幹事。

研究に基づいた実践、
実践に基づいた研究。



本学は、直面する課題を広く認識し、次の時代の潮流を把握しつつ創造的な経済・産業活動に取り組む人材の育成、すなわち日本経済、グローバル経済の相互発展に貢献する事業や企業を、独立して、または組織内で創造し、経営する人材を育成することを目的として設立されました。そのために、「研究に基づいた実践、実践に基づいた研究」を理念に掲げ、事業を創造し発展させるにふさわしい高い能力と見識と専門性を備えた人材育成を目指しています。

事業を独立または組織内に創造する場合、まずは思いついたことを実践してみようとするか、過去の事例、理論やデータを調べて事業を立ち上げようとするでしょう。実践してみても、課題にぶつかり、その解決のために過去の事例、理論やデータを調べ新しい解決法を見つけつつ、実践に戻る、そしてまた課題にぶつかり新しい解決法に向かうでしょう。過去の事例、理論やデータを調べ、新理論構築や新たなデータの採取・実験・検証などから、新しい解決法を見つけようとする行為が研究です。このように研究と実践を往復しながら、事業を創造していくことになります。

の研究と実践を往復するプロセスは、デザイン思考や実践的研究とも関係が深く、本学では教員、日本人学生、留学生がチームとなって議論するゼミナール、演習において、さらには付属の新潟地域活性化研究所での「アントレデザイン塾」、「女性起業家育成塾」において現実の課題を題材に実際に経験することになります。

近年、IoT、ビッグデータ、AI、セキュリティなど科学技術の進歩も激しく、様々な産業に構造的な変化が及ぶことが予想されています。研究の2大要素は新規性(独創性と優先性があること)と有効性(産業や学術に役立つこと)であり、科学技術の進歩が激しい時だからこそ、この2大要素を持つ研究と実践の往復プロセスを身に付けることが必須です。一時期、専門職大学院は研究より実践教育が重視され、最近は研究の重要性が再認識されてきました。本学は、創設以来一貫して、「研究に基づいた実践、実践に基づいた研究」を理念とし、事業創造の人材育成の拠点として、世界に羽ばたく修了生を輩出していくことを目指しています。

学長・教授 仙石 正和

北海道大学大学院工学研究科修了。工学博士。北海道大学助手、新潟大学教授、工学部長、理事・副学長など歴任。電子情報通信学会論文賞4回、業績賞、功績賞、同学会フェロー・名誉員。日本シミュレーション学会名誉会員・フェロー。IEEE国際会議最優秀論文賞、IEEE Life Fellow、日本学術会議通信・電子システム分科会委員長など歴任。地域では、新潟日報文化賞受賞、信越情報通信懇談会会長、新潟県IT&ITS推進協議会会長、新潟情報通信研究所理事長など歴任。

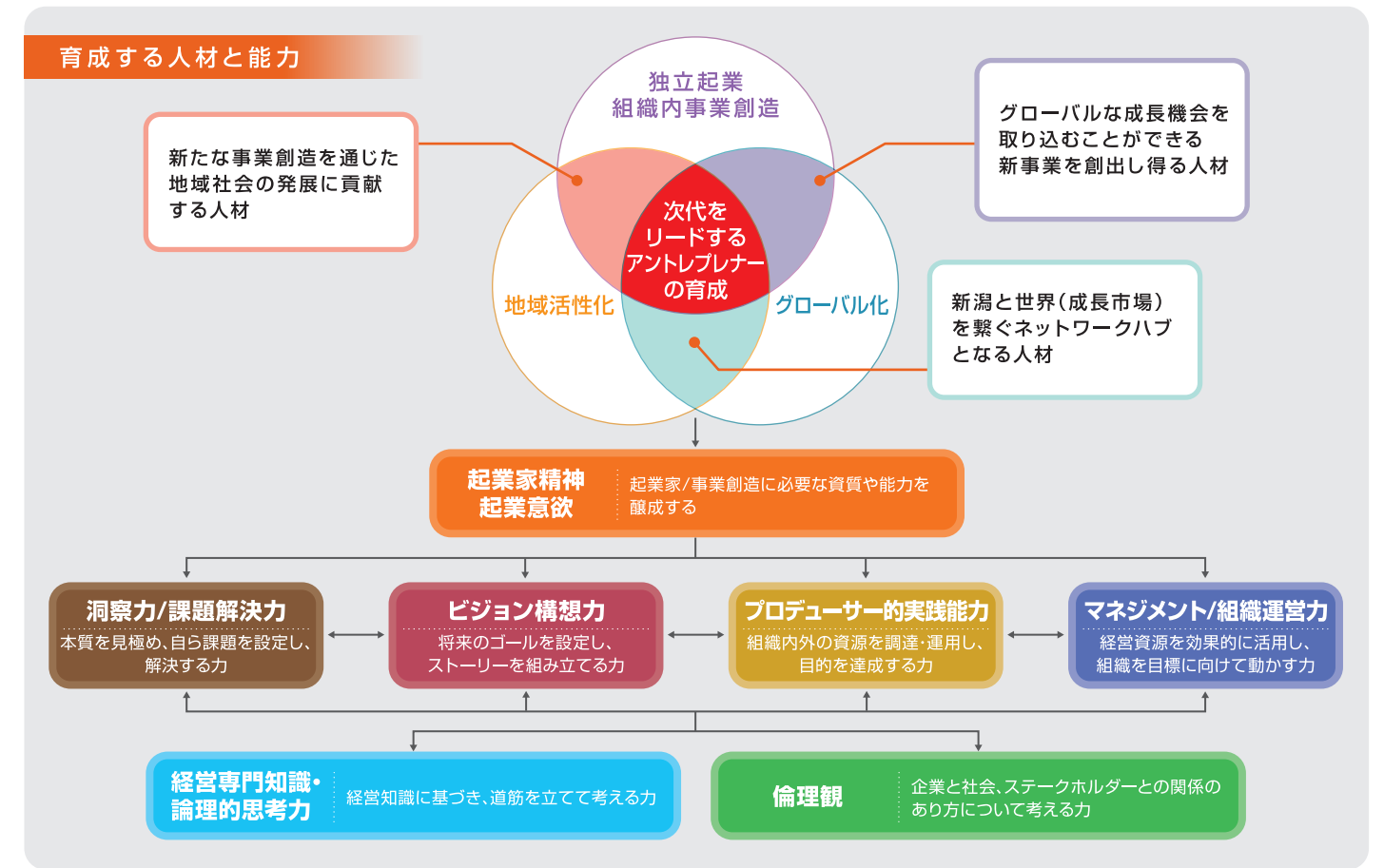


基本理念

日本経済とグローバル経済の相互発展に
貢献する事業や企業を、独立あるいは
組織内で創造し、経営する人材を育成する

求める人材像

- ベンチャー企業の創業を志す人材
- 企業・官公庁等から派遣され
新規事業開発や組織変革を担う人材
- 将来の起業を目指す新卒者
- 新規事業や起業を志す留学生
- 事業承継者



本学の特長

特長 1

多様なキャリア形成を実現する
MBAカリキュラム

起業家がビジネスを新規にスタートし成長させるため、事業家が事業を展開し発展させるため、また所属する組織内で経営革新を遂行し、企業理念や目的を達成するためにも、マネジメント全般の経営知識は必要不可欠です。本学では、「講義」は「基礎科目」に加え、「経営戦略」「財務・金融」「情報・技術」「アントレプレナーシップ」「事業環境」からなる5分野にわたる「発展科目」を配置し、さらに実践指導による「演習」を行っています。自身が描くキャリアの確認を行いながら、系統的・段階的に実学としての経営学を学ぶことが可能です。

特長 2

事業計画書(ビジネスプラン)の作成

アイデアをビジネスに落とし込み、魅力的なビジネスとなるよう実効性のある事業計画書を作成します。本学では、実践的かつ実現可能性の高い「事業計画書」を作成するため、ビジネスに必要不可欠な「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の4つの経営資源をビジネスプランへ落とし込み、仮説・検証を繰り返しながら、想定リスクにも対応したプランニングの完成を目指します。事業計画書の作成を通じ、アイデアを形にするだけでなく、社会・組織に対して自らが主体的に企画・提案し、新たな事業創造を主導できる能力を養います。

特長 3

社会人が学びやすい環境

本学の学生の多くは社会人であり、昼間に仕事をしながら学業に励んでいます。ビジネスの最前線で活躍する社会人にとって、仕事と両立しながら、学びたいことを学び続けられる環境が求められます。本学では柔軟なカリキュラム編成により多忙な社会人でもフレキシブルに学べるよう学習環境を整えております。

- 講義は平日(昼・夜間)および一部の土曜日(昼間)に開講。演習は平日の夜間のみ開講。
- 入学時期は業務のご都合に合わせ春(4月)と秋(10月)の年2回
- 欠席した講義や復習したい講義は本学図書館でDVD視聴が可能
- 最長4年まで延長可能な長期履修生制度をご用意

特長 4

実務家教員と研究者教員を
バランスよく配置

本学は新たな事業創造に必要な実務と理論をつなぐため、ビジネスの現場で活躍する実務家教員と深い探求心を兼ね備えた研究者教員をバランスよく配置しているため、ご自身のキャリア志向に合った教員から学ぶことが可能です。また広範囲にわたるMBAの科目をカバーするため、非常勤教員にも各分野のプロフェッショナルを配置しています。

その他、産業界など各分野の第一線で活躍中の起業家や経営者、著名な学識者に客員教授に就任いただき、特別講義を開講しています。これまで気づけなかった経営の視点や考え方を学ぶことができます。

特長 5

グローバルに形成される
人的ネットワーク

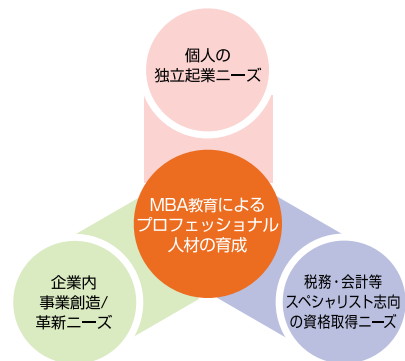
本学には、国籍・年齢・業種・価値観等、バックグラウンドが異なる多様な人材が集結しています。本学がダイバーシティを重視する背景には、異なる人材が互いの経験を共有し、「事業創造」「地域活性化」「グローバル」に関わるビジネスを生み出すために欠かせない「アントレプレナーシップ(起業家精神)の醸成」を狙いとしているためです。多様性に満ちた環境下で、幅広い人材同士が交わることによって、互いの人生に一生涯刺激を与えることになる人的ネットワークの構築が可能となります。

本学の特長
1

多様なキャリア形成を実現する

MBAカリキュラム

社会・企業・学生のニーズ、それぞれの目的に合致した、基礎から発展的な内容へと幅広い科目を体系的に学ぶことが可能な教育プログラムを提供しています。



分野		科目名	単位数		育成する能力／◎：最重点項目 ○：関連項目						
					起業家精神 起業意欲	洞察力／ 課題解決力	ビジョン 構想力	プロデューサー 的実践能力	マネジメント／ 組織運営力	経営専門知識・ 論理的思考力	倫理観
基礎科目		経営学概論		2						◎	
		経営戦略	2			○	◎			○	
		マーケティング	2			○	○			○	
		財務会計論	2						○	◎	
		財務諸表分析		2					◎	○	
		コーポレートファイナンス		2		○	○			◎	
		組織マネジメント／組織行動論		2					◎	○	
		人的資源管理／リーダーシップ論		2					◎	○	
		技術経営論		2				○		◎	
		IT基礎技術		2		○				◎	
		サプライチェーンマネジメント		2					◎	○	
		企業倫理	2							○	◎
		ビジネスプラン作成法※1	2		○		◎			○	
		アントレプレナーシップ論		2	◎		○		○	○	
統計分析		2						◎			
管理会計論		2						◎	○		
発展科目	経営戦略分野	経営戦略特論		2		○	◎				
		中小企業成長戦略		2	◎		○				
		サービスマネジメント		2		○			◎	○	
		事業戦略ケーススタディ		2		◎		○	○		
		グローバル・マーケティング		2		○	◎				
		マネジメントサイエンス※2		2		◎			○	○	
		市場調査法※3		2		○				◎	
	ビジネスモデルイノベーション		2	○	○	◎					
	財務・金融分野	リスクマネジメント		2					◎	○	
		税法Ⅰ		2						◎	
		税法Ⅱ		2						◎	
		税法特論		2						◎	
	情報・技術分野	ITソリューション		2		◎			○		
		ICT技術戦略		2			◎		○		
		AIと応用		2		○	◎				
	アントレプレナー シップ分野	アントレプレナー・ファイナンス		2	○	○	○			◎	
		コーポレートベンチャー論		2	○		○	◎	○		
		ベンチャー企業研究		2	◎			○	○		
		中小企業と事業承継		2	◎			○	○		
	事業環境分野	国際経済と経営環境		2		○				◎	
		企業法務		2						○	◎
		地域経済産業論		2		◎				○	
		地域フィールドスタディ		2		○		◎			
		観光ビジネス特論		2		○			○	◎	
		福祉ビジネス特論		2		○			○	◎	
		スポーツビジネス特論		2		○			○	◎	
		新興国市場と地域企業		2		○			○	◎	
演習		演習Ⅰ	2								
		演習Ⅱ※4	4								

※1 1年次のうちに履修すること ※2 2020年度は非開講 ※3 2020年度の開講は未定 ※4 「演習Ⅰ」の単位を履修済みであることが条件

経営に必須の基礎知識（必修科目5科目）

必修1 経営戦略

企業／事業戦略構築に必要なフレームワークを理解した上で、課題の本質を見極め、将来の方向付けと課題解決策を創出する戦略思考と応用力を修得します。

必修2 マーケティング

顧客の価値と満足を理解し、それをどのように創造し、伝え、提供するのか、適切な戦略と戦術の立案ができるようマーケティング理論と応用方法を学びます。

必修3 財務会計論

ビジネスにとっての最も基本的な素養であり言語である会計を学びます。財務会計の基本的な考え方を理解し、体系的にかつ実践的に理解し使いこなすことを目的とします。

必修4 企業倫理

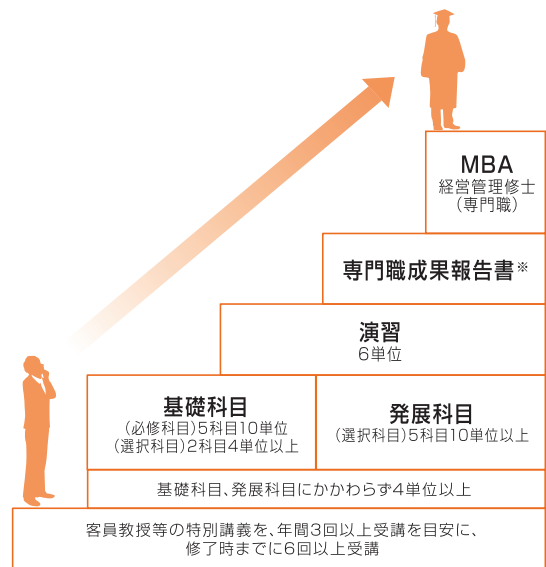
企業と社会（企業の利害関係者）の関係がどうあるべきか、企業統治、企業の社会的責任について考え、企業と国及び地方公共団体との関係の在り方についても考察します。

必修5 ビジネスプラン作成法

起業のみならず新規事業、事業承継など広く事業に取り組む際に必要となるビジネスプランの考え方、作成方法を修得します。

修了要件

34単位以上の修得と
専門職成果報告書※の合格



所定の単位を修得するとともに、演習を通して
専門職成果報告書※を作成し、審査で合格することが必要です。

※本学では専門職成果報告書として、「事業計画書」、「プロジェクト報告書」、「研究論文」があり、選択可能です。

授与学位

経営管理修士（専門職）
MBA

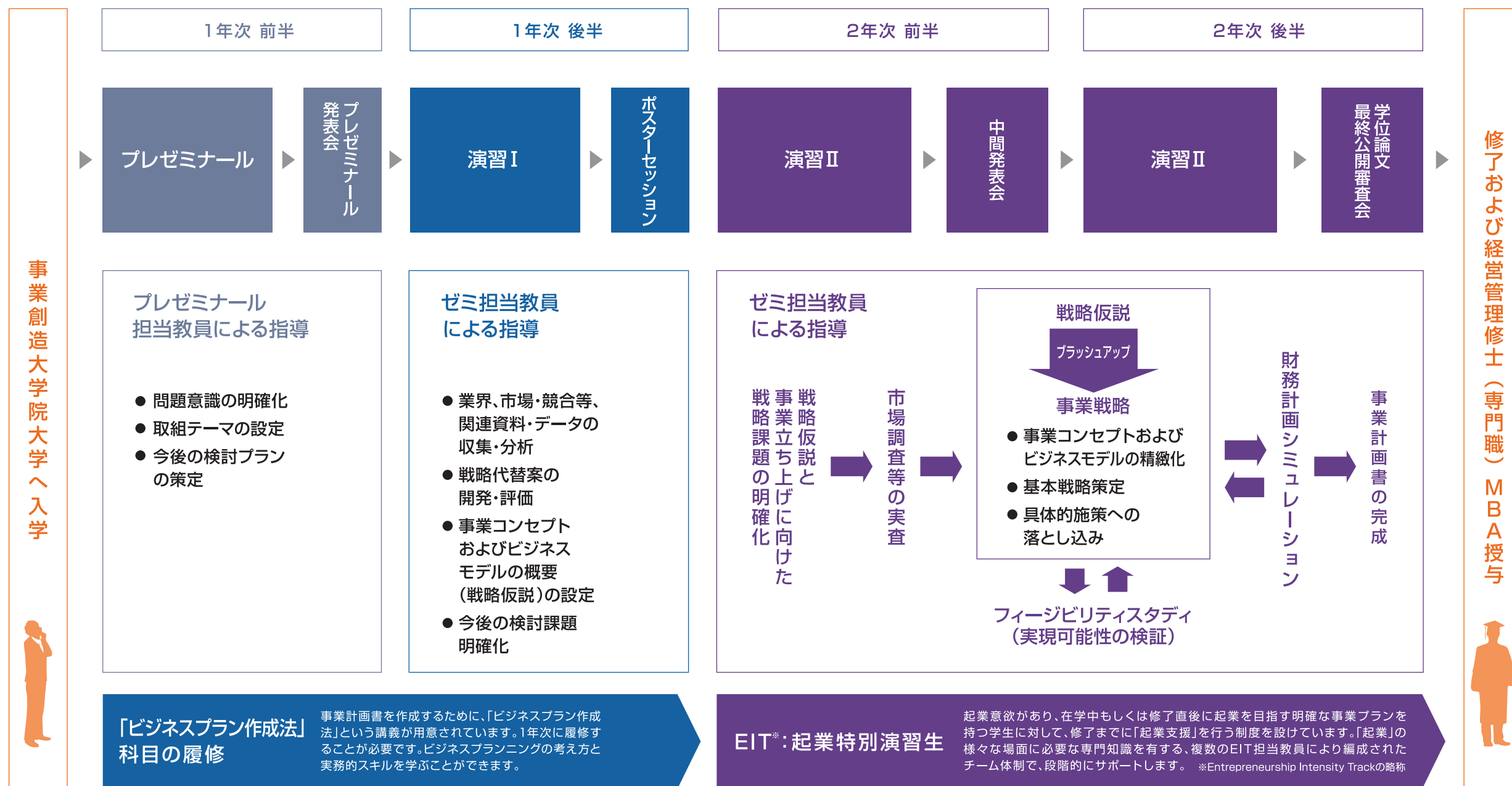
MBA (Master of Business Administration) は、経営に関する学位の称号です。本学のMBAは一般的な修士号ではなく、経営のプロフェッショナルを育成し、現場でマネジメントする能力を身につけることができる修士号です。経営は企業や組織の上層部だけのものではありません。年齢・役職を問わず、それぞれの立場で、その時々現場に即したマネジメントスキルが求められます。

事業計画書の作成

ビジネスプラン

本学の特長
2

修学2年間で実効性のある事業計画を作成 事業計画書 完成までの流れ



▲ 女性起業家育成塾



▲ ポスターセッション

選択可能な専門職成果報告書

本学では専門職成果報告書として「事業計画書」だけでなく、「プロジェクト報告書」や「研究論文」を選択することもできます。

事業計画書

起業・社内起業・新規事業などを将来的におこなうための計画書

プロジェクト報告書

国際的活動・社会活動や組織変革など行動実績を重視した報告書

研究論文

学術修士論文

実践的な演習指導

本学では2年間を通じて、担当教員による少人数のゼミ形式で専門職成果報告書の完成を目指します。それぞれの具体的な志望に合わせて、きめ細やかな指導を受けることが可能です。なお、税理士試験の科目免除申請が可能となる、税法や会計学に関わる演習も開設しています。

ビジネスプラン・研究成果発表会

年1回、日頃の研究成果を教員・学生・学外有識者に対して、発表する機会を設けています。学内外の衆知を集め、アドバイスをいただくほか、有望なプランに対しては学外有識者による支援が行われる場合もあります。

アントレデザイン塾

起業意欲が極めて旺盛で、魅力的かつ実現可能性の高いビジネスモデルを検討している学生を対象に開講。「アントレプレナーシップ」の醸成と、具体的なイノベーション創出に向けたコンセプト創りを含めた「戦略的デザイン思考を併せ持つ人材」を育成するため、本学担当教員のほか、投資家・経営者・コンサルタント等の外部支援者による指導体制により、実践的な訓練機能を提供する場として活用できます。

女性起業家育成塾

女性の新しいキャリア・ステージの形である起業支援を強化すべく「女性起業家」の育成を目的に開講。起業家志望学生、あるいは将来新潟と諸外国との国際的な事業や各種取組みに貢献することが期待される学生を対象とし、実効性のある事業計画書を作成すること、新潟と世界との国際的な事業展開のための関係を構築することを到達目標とします。

本学の特長
3

入学時期は春と秋の年2回

ご自身の業務や都合に合わせて入学時期を選択できます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月								
春入学	授業(15週/90分)						授業(15週/90分)						授業(15週/90分)						授業(15週/90分)																			
	入					夏季 休暇				冬季 休暇		春季 休暇							夏季 休暇				冬季 休暇		修													
秋入学								授業(15週/90分)						授業(15週/90分)						授業(15週/90分)						授業(15週/90分)												
							入			冬季 休暇		春季 休暇							夏季 休暇				冬季 休暇		春						修							

平日は講義を昼夜2回実施

平日の講義は、3限・4限と5限・6限で同じ科目を開講します(一部の科目を除く)。ご希望の時間で受講することができます。土曜日は集中講義を実施しています。

欠席した講義はDVDで視聴可能

全ての講義は録画されているので、仕事の都合でやむなく欠席した場合や復習のためなど、DVDで視聴することができます。DVDコーナーは図書館に併設されています。



春学期(4月～8月)時間割

時限	月	火	水	木	金	時限	土
3 13:50～15:20	管理会計論	ビジネスプラン作成法		IT基礎技術		1 10:30～12:00	経営学概論 ※1 ベンチャー企業研究 ※2 リスクマネジメント ※3
	税法Ⅰ	国際経済と経営環境				2 13:00～14:30	
4 15:30～17:00	アントレプレナーシップ論	マーケティング		財務会計論	企業法務	3 14:40～16:10	
	地域フィールドスタディ	アントレプレナー・ファイナンス		ビジネスモデルイノベーション	人的資源管理/リーダーシップ論	4 16:20～17:50	
5 18:30～20:00		AIと応用		中小企業成長戦略	サービスマネジメント		
	管理会計論	ビジネスプラン作成法		IT基礎技術	企業法務	※1 6/6(2～4限) 7/4(1～4限) 7/18(1～4限) 7/25(1～4限)	
6 20:10～21:40	地域フィールドスタディ	アントレプレナー・ファイナンス	演習Ⅰ・Ⅱ	ビジネスモデルイノベーション	人的資源管理/リーダーシップ論	※2 5/23(2～4限) 6/6(1～4限) 6/20(1～4限) 7/4(1～4限)	
	アントレプレナーシップ論	新興国市場と地域企業		中小企業成長戦略	サービスマネジメント	※3 5/23(2～4限) 6/6(1～4限) 6/20(1～4限) 7/4(1～4限)	
	税法Ⅰ	国際経済と経営環境		財務会計論			
		AIと応用					

■ は3限～4限で履修した場合の必修科目です。

■ ■ は5限～6限で履修した場合の必修科目です。 〈2020年度の時間割となります〉

秋学期(10月～2月)時間割

時限	月	火	水	木	金	時限	土
3 13:50～15:20	コーポレートベンチャー論	ビジネスプラン作成法		経営戦略	ITソリューション	1 10:30～12:00	統計分析 ※4 経営戦略特論 ※5 観光ビジネス特論 ※6
	税法Ⅱ	中小企業と事業承継				2 13:00～14:30	
4 15:30～17:00	財務諸表分析	コーポレートファイナンス		企業倫理	サプライチェーンマネジメント	3 14:40～16:10	
	スポーツビジネス特論	グローバル・マーケティング			組織マネジメント/組織行動論	4 16:20～17:50	
5 18:30～20:00	事業戦略ケーススタディ	ICT技術戦略					
		地域経済産業論	演習Ⅰ・Ⅱ	経営戦略	サプライチェーンマネジメント	※4 11/14(2～4限) 11/28(2～4限) 12/12(2～4限) 1/9(2～4限) 1/23(2～4限)	
6 20:10～21:40	コーポレートベンチャー論	グローバル・マーケティング		福祉ビジネス特論	組織マネジメント/組織行動論	※5 11/28(1～4限) 12/12(1～4限) 1/9(2～4限) 1/30(1～4限)	
	税法Ⅱ	中小企業と事業承継		企業倫理	ITソリューション	※6 11/14(2～4限) 11/28(2～4限) 12/12(2～4限) 1/9(2～4限) 1/23(2～4限)	
	事業戦略ケーススタディ	コーポレートファイナンス			税法特論		

履修例

Case-1

週3日通学／バランス重視で2年間無理なく学びたい場合

【1年次】

●春学期

	月	火	水	木	金
5限		ビジネスプラン作成法	演習Ⅰ	ビジネスモデルイノベーション	
6限		マーケティング		財務会計論	

●秋学期

	月	火	水	木	金
5限		ICT技術戦略	演習Ⅰ	経営戦略	
6限		グローバル・マーケティング		企業倫理	

【2年次】

●春学期

	月	火	水	木	金
5限	地域フィールドスタディ	アントレプレナーファイナンス	演習Ⅱ		
6限	アントレプレナーシップ論	AIと応用			

●秋学期

	月	火	水	木	金
5限		地域経済産業論	演習Ⅱ		
6限		中小企業と事業承継			

Case-2

1年次は集中的に履修し、2年次は事業計画書作成等に集中したい場合

【1年次】

●春学期

	月	火	水	木	金
5限	管理経営論	ビジネスプラン作成法	演習Ⅰ	ビジネスモデルイノベーション	人的資源管理/リーダーシップ論
6限	税法Ⅰ	マーケティング		財務会計論	

●秋学期

	月	火	水	木	金
5限	技術経営論	ICT技術戦略	演習Ⅰ	経営戦略	組織マネジメント/組織行動論
6限	事業戦略ケーススタディ	グローバル・マーケティング		企業倫理	

【2年次】

●春学期

	月	火	水	木	金
5限			演習Ⅱ		
6限					

●秋学期

	月	火	水	木	金
5限			演習Ⅱ		
6限					

長期履修生制度

2年間での履修に困難な事情がある場合、3年または4年に延長することが可能です。

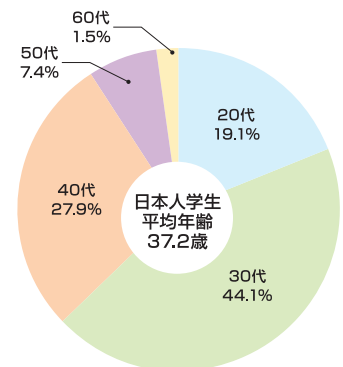
専門実践教育訓練給付金

本学は厚生労働大臣より専門実践教育訓練講座の指定を受けており、一定の条件を満たす学生は、本学に支払った学費の一部(最大112万円)を給付金として受け取ることができます。

駅から近く、通学至便な環境

新潟駅の南口を出て徒歩7分にキャンパスがあります。

本学の学生は幅広い年代の社会人で、仕事をしながら学業に励んでいます。フレキシブルな学習環境で、仕事と学業の両立をサポートします。



本学の特長
4

実務家教員と研究者教員を バランスよく配置

次代をリードするアントレプレナーを育成するために、各分野のプロフェッショナルが集結しています。

実践

研究

事業創造研究科



教学担当副学長・
研究科長・教授
五月女 政義

- 経営戦略
- ビジネスモデルイノベーション
- 演習Ⅰ・Ⅱ

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了。経営学修士。消費財メーカー、外資系コンサルティング会社を経て、(株)三菱総合研究所に入社。30年間にわたり、メーカーから流通・サービス業に至るまで幅広い分野で戦略ビジョン、中長期事業戦略/ビジネスモデル革新、新規事業戦略などに関する戦略コンサルティングを実施。



地域・国際担当副学長・
教授
富山 栄子

- マーケティング
- グローバル・マーケティング
- 演習Ⅰ・Ⅱ

新潟大学大学院現代社会文化研究科修了。博士(経済学)。東京外国語大学外国語学部卒業、商社勤務、テレビ局で通訳・翻訳・国際交流業務に従事。法廷通訳、コンサルティング業務。専門はグローバル・マーケティング、マーケティング。(財)環日本海経済研究所共同研究員、日本精機(株)社外取締役監査等委員。



産官学連携担当副学長・
教授
黒田 達也

早稲田大学大学院商学研究科修了。経営管理修士(MBA)。東京大学工学部卒業。松下政経塾(14期)修了。リクルート、HIS、経団連を経て、現在、日本ニュービジネス協議会連合会特別参与、新潟人工知能研究所代表取締役ほか、VC2社の取締役。日本ベンチャー学会・ビジネスモデル学会会員。新潟経済同友会特別会員。



教授
大塚 晃

- ITソリューション
- ICT技術戦略
- AIと応用
- 演習Ⅰ・Ⅱ

新潟大学大学院自然科学研究科修了。博士(工学)。三菱電機株式会社 情報技術総合研究所にて、無線通信技術など研究開発、および情報通信技術によるソリューション開発に従事。ICT技術の研究、および事業戦略立案を進めている。電子情報通信学会、日本シミュレーション学会、人工知能学会、日本ベンチャー学会に所属。



教授
唐木 宏一

- コーポレートファイナンス
- アントレプレナー・ファイナンス
- 演習Ⅰ・Ⅱ

一橋大学大学院商学研究科修了。博士(商学)。三井住友銀行での13年余りの融資渉外業務を通じ、与信や企業財務等の知識技能を身につけた後、大学院に進学し「企業と社会」「金融と社会」を研究。修了後は大学非常勤講師や、社会起業家、NPO等の支援に携わるほか、個人研究所(社会的金融研究所)にて論文等を執筆、発表。



教授
岸田 伸幸

- アントレプレナーシップ論
- コーポレートベンチャー論
- 演習Ⅰ・Ⅱ

早稲田大学大学院商学研究科修了。博士(商学)。日本長期信用銀行系VCエヌイーディー(株)で主に中小企業PEとIT系VC投資に従事後、安田企業投資(株)でバイオ・医療系VC投資とファンド管理業務を経験。約15年で30社に投資し10社がEXITした。MBA取得の後、経営コンサルタントとして事業開発、戦略、幹部教育他で企業を支援。



教授
駒宮 史博

- 演習Ⅰ・Ⅱ

東京大学を卒業後、米国加州立大学でMBA(経営管理学修士)及びハーバード大学でMPA(行政管理学修士)を取得。国税庁、大蔵省等に16年間勤務の後、新潟大学に移り、租税法の教育・研究に従事。現在、弁護士(新潟県弁護士会)。新潟大学名誉教授、青山学院大学大学院特任教授、租税法学会理事、新潟県税制調査会委員等。



教授
里見 泰啓

- 国際経済と経営環境
- 中小企業と事業承継
- 演習Ⅰ・Ⅱ

早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(商学)。民間シンクタンクなどで中小企業や地域産業の振興などに関わる委託調査研究業務に従事。産業支援型NPOなどで中小企業の支援活動を推進する。日本経済政策学会、日本地域政策学会、事業承継学会などに所属し、中小企業や地域経済に関わる研究を進めている。



教授
杉本 等

- ビジネスプラン作成法
- 演習Ⅰ・Ⅱ

東北大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。日本大学工学部情報工学科にて助手、専任講師。地域の情報化に貢献。その後、(株)パドラックを立ち上げ、現在代表取締役。オープンソースに特化したビジネスを展開。また、NPO、社会起業家や地域リーダー育成などの団体の立ち上げにも携わっている。



教授
高橋 宏幸

- 演習Ⅰ

中央大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(学術)。中央大学に赴任して以来、旧三和総合研究所との連携による駿河台記念館での社会人講座の開設、また大学院経済学研究科の社会人教育の都心展開、さらには中央大学ビジネススクール並びにその受け皿として博士課程の設置など社会人教育に積極的に取り組んできた。ビジネスマンの潜在能力を顕在化していくことを第一の目標としている。



教授
秦 信行

- 地域経済産業論

早稲田大学大学院経済学研究科修了。経済学修士。(株)野村総合研究所で証券アナリスト並びに財務コンサルタントとして20年間勤務。そのうち最後の4年弱は野村グループのベンチャーキャピタルであるジャフコに出向し投資業務を担当。1994年國學院大學に移り25年間勤務。専門分野はベンチャーファイナンス、アントレプレナーシップ等。



教授
宮島 敏郎

- 事業戦略ケーススタディ
- 地域フィールドスタディ
- 演習Ⅰ・Ⅱ

事業創造大学院大学事業創造研究科修了。経営管理修士(専門職)。青山学院大学卒業後、新潟放送に入社。報道部記者およびデスクとしてニュース取材と硬派のドキュメンタリー制作にあたる。制作した番組は様々な番組コンクールで受賞作となり、うち3本は最優秀賞を受賞。2006年よりNSGグループの広報室長に転じグループの経営戦略に携わる。日本ベンチャー学会、日本企業経営学会会員。



准教授
鈴木 広樹

- 財務会計論
- 企業倫理
- 演習Ⅰ・Ⅱ

早稲田大学政治経済学部卒業。学士(経済学)。公認会計士。証券会社にて企業審査に従事。総合ディスクロージャー&IR研究所客員研究員も務める。『タイムリー・ディスクロージャー(適時開示)の実務』、『検証・裏口上場一不適合合併等の事例分析』、『適時開示実務入門』など著書多数。



准教授
鈴木 悠哉

- 税法Ⅰ
- 税法Ⅱ
- 演習Ⅰ・Ⅱ

横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程後期単位取得退学。博士(国際経済学)。租税法を研究対象とし、とりわけ、国境を越える経済活動に対する課税と関連した各国の国内租税法制及び租税条約に焦点を当ててきた。独立行政法人日本学術振興会特別研究員、ウィーン経済大学訪問研究員及び本学講師を経て現職。



講師
金 紅花

- 管理会計論
- 財務諸表分析
- 演習Ⅰ・Ⅱ

新潟大学大学院現代社会文化研究科修了。博士(経済学)。中国吉林省延吉市出身。来日前まで中国上海のIBM社、Honeywell社の財務・金融部門にてSenior Administrator、Credit Analystとして勤務。2007年来日。日本と中国における管理会計技法研究に取り組んでいる。

新潟地域活性化研究所

教授 宇田 賢一

大阪市立大学法学部卒業。法学士。日本生命保険(相)入社。株式投資部門を中心に勤務後、日本ベンチャーキャピタル(株)取締役投資部長、事業創造キャピタル(株)代表取締役と20年強に亘りベンチャービジネスへの投資・支援活動に携わる。また非常勤取締役及び監査役を多数勤める等極めて実践的で実務的な知識・経験を有する。

准教授 佐藤 光哉

早稲田大学法学部卒。事業創造大学院大学修了(MBA)。(学)新潟総合学院・(学)新潟総合学園勤務を経て、事業創造キャピタル株式会社代表取締役。新潟ベンチャーキャピタル株式会社取締役、M&A会社役員。日本ベンチャー学会会員。サービス学会会員。(公社)日本ニュービジネス協議会連合会 参与。

非常勤教員

赤堀 浩一郎

エクスプローラーズジャパン株式会社 代表取締役
●サービスマネジメント ●観光ビジネス特論

伊藤 龍史

新潟大学 経済学部 准教授
●技術経営論

大森 英直

日本ホスピスホールディングス株式会社 戦略本部 担当部長
●リスクマネジメント

上村 孝樹

ジャーナリスト/ビジネス&経営アドバイザー
●中小企業成長戦略

小林 修

株式会社東京コンサルティング研究所 シニアコンサルタント
●サプライチェーンマネジメント

高井 典子

神奈川大学 国際日本学部 教授
●観光ビジネス特論

田村 真理子

日本ベンチャー学会 事務局長
●ベンチャー企業研究

東瀬 朗

新潟大学 工学部 協創経営プログラム 准教授
慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 講師(非常勤)
●経営学概論 ●経営戦略特論

西原 康行

新潟医療福祉大学大学院 教授
●スポーツビジネス特論

馬場 康維

情報・システム研究機構 統計数理研究所 名誉教授
総合研究大学院大学 名誉教授
公益財団法人統計情報研究開発センター 客員上席研究員
●統計分析

平松 庸一

日本大学 商学部 教授
●組織マネジメント/組織行動論 ●人的資源管理/リーダーシップ論

森川 博之

東京大学 教授
●ICT技術戦略

吉田 正之

新潟大学 法学部 創生学部 教授
●企業法務

渡邊 敏文

新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科長 教授
新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療福祉政策・計画・運営分野長 教授
●福祉ビジネス特論

渡邊 信子

税理士・行政書士・ファイナンシャルプランナー
関東信越税理士会 常務理事 調査研究部 部長
●税法特論

(敬称略 五十音順)

人的ネットワーク

本学の特長
5

世界14ヵ国40大学の海外交流協定校

Europe



トリノ大学 UNIVERSITY OF TURIN
イタリア



アル・ファラビ名称カザフ国立大学
AL-FARABI KAZAKH NATIONAL UNIVERSITY
アブライ・ハン名称カザフ国際関係外国語大学
KAZAKH ABLAI KHAN UNIVERSITY OF INTERNATIONAL RELATIONS AND WORLD LANGUAGES
カザフスタン



コメニウス大学 文学部
FACULTY OF ARTS, COMENIUS UNIVERSITY
パン・ヨーロッパ大学 PAN-EUROPEAN UNIVERSITY
スロバキア



ブダペスト商科大学 BUDAPEST BUSINESS SCHOOL
法門仏教大学 DHARMA GATE BUDDHIST COLLEGE
カーロリ・ガーシュバル・カルビン派大学
KAROLI GASPAR UNIVERSITY OF THE REFORMED CHURCH IN HUNGARY
エトヴェシュ・ロラント大学 EOTVOS LORAND UNIVERSITY
ハンガリー



イーゴリ・シコールスキ記念キエフ工科大学
NATIONAL TECHNICAL UNIVERSITY OF UKRAINE
"IGOR SIKORSKY KIEV POLYTECHNIC INSTITUTE"
キエフ経済大学 UNIVERSITY<KYIV SCHOOL OF ECONOMICS>
ウクライナ



サンクトペテルブルグ国際経済法律大学
SAINT-PETERSBURG INSTITUTE OF INTERNATIONAL TRADE, ECONOMICS AND LAW
ウラジオストク国立経済サービス大学
VLADIVOSTOK STATE UNIVERSITY OF ECONOMICS AND SERVICE
極東国立人文大学 FAR-EASTERN STATE UNIVERSITY OF THE HUMANITIES
ハバロフスク国立経済法律大学
Khabarovsk State Academy of Economics and Law
海洋国立大学
MARITIME STATE UNIVERSITY NAMED AFTER ADMIRAL G.I. NEVELSKOY
極東連邦総合大学 FAR EASTERN FEDERAL UNIVERSITY
ロシア

Asia



日本



ティラク・マハラシュトラ大学
TILAK MAHARASHTRA VIDYAPEETH
インド



モンゴル国立大学 ビジネススクール／総合科学学部
NATIONAL UNIVERSITY OF MONGOLIA
BUSINESS SCHOOL / SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES
モンゴル科学技術大学
MONGOLIAN UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
モンゴル財務経済大学
UNIVERSITY OF FINANCE AND ECONOMICS, MONGOLIA
モンゴル国大学院大学 GRADUATE UNIVERSITY OF MONGOLIA



又石大学校 WOOSUK UNIVERSITY
韓国



延辺大学 YANBIAN UNIVERSITY
大連大学 DALIAN UNIVERSITY
塩城師範学院 YANCHENG TEACHERS UNIVERSITY
中国



タイ商工会議所大学
UNIVERSITY OF THE THAI CHAMBER OF COMMERCE
泰日工業大学 THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY
タイ



王立ブノンベン大学 ROYAL UNIVERSITY OF PHNOM PENH
カンボジアメコン大学 CAMBODIAN MEKONG UNIVERSITY
カンボジア



貿易大学 FOREIGN TRADE UNIVERSITY
貿易大学ホーチミン校
FOREIGN TRADE UNIVERSITY, HO CHI MINH CITY CAMPUS
ハノイ大学 HANOI UNIVERSITY
ハノイ国家大学外国語大学
UNIVERSITY OF LANGUAGES AND INTERNATIONAL STUDIES, VNU
フエ外国語大学
HUE UNIVERSITY COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
ダナン外国語大学
THE UNIVERSITY OF DA NANG, UNIVERSITY OF FOREIGN LANGUAGE STUDIES
タンロン大学 THANG LONG UNIVERSITY
ベトナム



ダルマプルサダ大学 DARMA PRESADA UNIVERSITY
デンバサル・マハサラスワティ大学
MAHASARASWATI UNIVERSITY OF DENPASAR
ウダヤナ大学 UDAYANA UNIVERSITY
インドネシア



(後列左から) ミャンマー/Nyi Ye Htetさん、ハンガリー/Nemeth Vivienさん、
カザフスタン/Baubekkyzy Zhansayaさん、中国/王 晨歆さん、中国/陳 姿穎さん
(前列左から) インドネシア/Ni Luh Putu Miraheniさん、インド/Todkari Srushti Shrikantさん、
ベトナム/Ngo Thi Thu Trangさん

【起業実績】～世界で活躍する修了生～

Case-1

ミャンマー

日本企業や法人とパートナーを組み
ミャンマーの人材育成に力を
入れていきたい

SHEINOVIC Holdings Co., Ltd.
Director of Business Development, Finance, HR
AYE AYE SHEIN(エイ エイ シェイン)さん /2012年3月修了



日緬間の異業種交流を目的とする産業ツアー事業の「SKY WALKER Co., Ltd.」、ミャンマー進出顧客企業の組織強化と人財開発事業の「MYANWAVE Co., Ltd.」、ミャンマー進出や投資のコンサルティング業務の「SAMADI Services Co., Ltd.」、鉱物資源の探鉱開発支援及び行政手続エージェント業の「SAMADI Mining Co., Ltd.」、以上4つの会社とその持ち株会社としてSHEINOVIC Holdingsを運営しています。現在はそれらの会社の財務・人事・事業開発の取締役を務めているため、本学で学んだ「財務」、「人事」、「経営企画」などを活用しています。今後は、日本企業や法人とパートナーを組み、ミャンマーの人材育成(主に自動車整備士・医療・福祉分野)に力を入れていきたいと思っています。

Case-2

モンゴル

本学に留学できたことは一生の宝物
モンゴルの自然資産の価値を
最大限伝えていきたい

DARK SKY MONGOLIA LCC
CEO
BATSAIKHAN ENKHTUVSHIN(バトサイハン エンフトゥブシン)さん /2018年3月修了



モンゴルの観光資源の価値最大化をコンセプトとする旅行会社を運営しています。自然資産の価値を外国人観光客に最大限に伝えるためにその象徴的な存在であるモンゴルの満天の星空を念頭に置いた「モンゴル・ゲルキャンプ星空ツアー」を催行して二年目となります。CSRとして、モンゴルの特定のエリアを世界有数の星空保護区のサンクチュアリとして認定する活動もしています。本学に留学できたことは一生の宝物だと考えています。学生それぞれの個性に合わせて指導すること、授業内容とは別に、本人が本当に何をやりたいのかをとことん追求した上で足りない部分をタイミングよく足していく教育は、本学ならではの特長だと思います。もし、MBAを目指す志があるなら、是非とも事業創造大学院大学を選んでください。確固たる自信をもってお勧め致します。

Case-3

ベトナム

ベトナムと日本の懸け橋となり得る
人材を育成し両国の発展に
貢献できるよう挑戦し続けたい

Beni investment and education JSC
代表取締役社長
Than Thi Xuan(タン ティ スアン)さん /2012年3月修了



本学修了後、ベトナムに帰国してまず最初に、日本製の安全・安心な化粧品及びサプリメント販売の会社「Plan Do See Vietnam Co.,Ltd.」を設立しました。そして現在は、投資及び小売業(日本製100%商品販売店)「株式会社BTグループ」の取締役、教育事業やエンジニア・技術者派遣事業等の「Beni investment and education JSC」の3つの会社を運営しております。実は、本学に入学するまでは起業は考えたことがなかったのですが、経営戦略やマーケティングなどたくさんのカリキュラムを通して、会社を設立するファーストステップから運営・管理までの全ての流れや本当に必要な知識を学ぶことができ、起業したいと思いました。今後はベトナムと日本の懸け橋となり得る人材を育成し、両国の発展に貢献できるよう挑戦し続けたいと思います。

Case-4

中国

日本と中国両国の国際交流を
ベースにした各種ビジネスの
パイオニアになりたい

株式会社 FIGHT
代表取締役
李 京坤(リ キョウコン)さん /2019年3月修了



大学院では日中の医療福祉産業について研究を進めながら、アントレデザイン塾(修了後直ぐ起業したい学生をサポートする塾)に通い、2年間で身に付けた経営知識と本学で得た人脈を活かし、第二の故郷である新潟で起業いたしました。平成元年に私が生まれて、令和元年に株式会社FIGHT(Future, Intelligent, Global, Hospitality, Thrive)が生まれたことは、日本と私の縁を感じます。FIGHTは医療福祉産業を中心として、医療ツーリズム、国際看護・介護人材紹介、医療福祉器具貿易など事業を展開しております。今後、FIGHTと共に社会に貢献しながら、日本と中国両国の国際交流をベースにした各種ビジネスのパイオニアになりたいと考えています。

志ある者が世界中から集まり 刺激的な毎日を与えてくれる宝箱

株式会社アルディー（HONMAグループ） 代表取締役社長
本間 剛朗さん（2018年10月入学）

様々な立場で活躍する魅力あふれた修了生達から影響を受け、入学を決めました。本学は世界中から集まった志ある者たちの多面的で多角的な見方や考え方、文化や価値観が詰まった宝箱です。刺激的な毎日が、凝り固まった頭を解し、柔軟な発想や想像、表現力を生み出し、仕事にもよい影響を与えています。



演習はビジネスアイデアの 創出の場

株式会社ハードオフコーポレーション 代表取締役社長
山本 太郎さん（2010年3月修了）

大学院生活を振り返ると、「演習」が特に充実した時間でした。演習では担当教員の下、各自が作成している事業計画について毎回激しい議論を行いました。担当教員から基礎的な指導を受けるばかりではなく、各自の事業計画の内容について様々な意見が飛び交う、ビジネスアイデアの創出の場となっていました。



MBA取得やこれからの企業経営に 必要なグローバル視点の形成に有効

株式会社新湊クボタ
代販事業部 下越代販部 部長
錦澤 貴洋さん（2019年4月入学）

これからのビジネスはよりグローバルな展開が必要になってきます。様々な国や業種、役職の方々と接し意見を交わし合うこと、またそれぞれの風習や経済情勢、さらには文化などを実際に体感できることは、MBAの取得はもちろん、これからの企業経営に必要なとなるグローバルな視点を形成したいという方には非常に有効な機会となります。

新規事業に対して感覚ではなく知識を 活用・実践し事業の確実性を高めていきたい

株式会社ヴァーテックス
エンジョイライフカンパニー
新規開発担当 ディレクター
渋谷 賢さん（2019年4月入学）



日頃からアグレッシブな姿勢で新規事業へチャレンジする弊社で私は新規事業開発に携わっています。会社や代表の思い描く新規事業に対し、事業を創るために「感覚」でしかなかったものを「知識」として活用・実践する上司（本学修了生）の姿に憧れ入学しました。自身も学問や知識を身につけ事業の確実性をより高めていきたいと思います。

日常に違うリズムが加わり 漠然と考えていたことが希望に

社会福祉法人愛宕福祉会
新潟市特別養護老人ホーム
大山台ホーム 理学療法士
高橋 早紀さん（2019年10月入学）

留学生と関わる機会も多く、日本では当たり前のことが他国では当たり前ではなく、今まで疑問に思わなかったことについての疑問を投げかけられる事が多くあり、新しい考え方や刺激を得られ、今までの日常に違うリズムや風が加わり、充実した日々を過ごせています。漠然と考えていたことが本当に実現できるのではないかと希望もみえてきました。



日本経済、グローバル経済の 相互発展に寄与する人材になる為に

株式会社えちごホールディングス
代表取締役
小林 洋介さん（2019年4月入学）

29歳の時に燕三条で自動車钣金塗装屋を独立起業しました。現場上りの私は経験則での判断しか出来ず組織マネジメントに限界を感じ入学を決意しました。日本経済、グローバル経済の相互発展に寄与する人材になる為に今学び、未来の問題と課題を他人事ではなく自分事と捉え、次世代に胸を張って繋げていきたいと思っています。

子育て・仕事・学業の両立。チャレンジできる 環境があるなら多くの女性にも学んで欲しい。

株式会社ニイガタスタイル
営業部
吉川 陽子さん（2019年4月入学）



私はワーキングマザーです。世間では子育てと仕事の両立の議論がよくされていますが、私の場合はそれに学業も加わり、大忙しです。今の自分が一番若いのです。一年後勉強しようと思っても出来ないかもしれません。家族が協力してくれる環境があるなら、是非女性にも学んで欲しいと思います。とても刺激になります。



経営を学ぶことは自身の働き方や 生き方を想像以上に豊かにする

新潟県 福祉保健部
福祉保健課 主任
渡邊 直彦さん（2019年4月入学）

社会の問題の捉え方や対応策を考える際には、事業戦略やマーケティングで用いられている視点がヒントになります。先生方をはじめ、異業種で活躍されている社会人学生や留学生の意見、考え方に触れることで、思考の幅が広がります。経営について学ぶことは、自身の働き方や生き方を想像以上に豊かにする可能性があると思います。



人脈形成が将来の 仕事の幅を決める

株式会社コメリ 取締役執行役員
経営企画室 ゼネラルマネジャー
兼 関係会社統括室 ゼネラルマネジャー
兼 広報担当
早川 博さん（2010年9月修了）

最も大きい財産は人脈づくりだと思います。修了して今年で10年になりますが、今でもいろいろ教えてもらったり連絡を取り合って情報交換をさせていただいております。仕事をする上で人脈形成が将来の仕事の幅を決めると言っても過言ではないように思います。

実際の事業に役立つ 講義や修士論文

株式会社テレビ新潟放送網
放送本部編成局メディア開発部 部長
紫竹 聡子さん（2012年3月修了）

企画を考えるプロセスで自然とマーケティングや経営戦略の講義で学んだ内容を組み込めるようになりました。また修士論文を書く際に実際にタイの放送局や制作会社取材し、海外局のコンテンツに対する考え方を知ったのですが、当時の経験が現在手掛けている放送コンテンツの海外展開事業でも役立っています。



グローバルな人脈形成が 大きな財産に

亀田製菓株式会社
(THAI KAMEDA CO.,LTD.)
Research&Development section Manager
高岡 勇介さん（2019年3月修了）

現在、様々な国の市場を対象に商品開発をしている中、日本の文化的食品である米菓を海外に広める事はやりがいがある反面、非常に難しくもあります。異国の市場や価値観、文化、情勢などの情報収集で今でも学友と連絡をとっており、様々な国籍とグローバルな人脈形成ができた事は非常に大きな財産となっています。



戦略的な事業創造プロセスの 研究が大きな財産に

株式会社ブルボン
製造管理部 資材管理二課 課長
徳永 崇さん（2017年3月修了）

思考プロセスや分析評価法及びマネジメント等、どの科目にも業務に必要な理論が多くあり、体系的に修得することができました。また、事業計画書の作成を通じ、戦略的な事業創造プロセスについて体得したことは、大いに活用できる財産となりました。今後は革新するビジネスモデルの創造に取り組みたいと考えています。

共に学ぶ仲間を得て チャレンジすることが当たり前

株式会社富士通新潟システムズ
第二ソリューション事業部
第二ソリューション部 課長
須田 義宗さん（2018年3月修了）

知識・スキルもさることながら、共に学ぶ仲間を得て「チャレンジ」することが当たり前と思える環境に身を置くことができたことが何よりも嬉しく、ビジネスを創り上げるには本気で取り組める仲間が必要だということを肌で感じる事ができました。異業種の社会人や留学生との出会いで新たな視点が得られました。



行政の立場で捉えていた課題を 経営者の立場で捉え直す良い機会に

新潟市 経済部 産業政策課 主査
新潟経済同友会 マネージャー
白井 里枝さん（2014年3月修了）

公務員という立場からすると経済や起業・経営は一見関係のないものと考えてしまいましたが、事業立案の際、本学で学んだ経営の考え方が参考になっています。また、地域課題や福祉ビジネスを取り扱った講義は、行政の立場で捉えていた課題を経営者の立場で捉え直し、新たな発見をする良い機会でした。

事業創造大学院大学 概要

大学院概要

- 名 称：事業創造大学院大学 Graduate Institute for Entrepreneurial Studies
- 研究科・専攻名称：事業創造研究科 事業創造専攻
- 課 程：専門職学位課程
- 授 与 学 位：経営管理修士(専門職) MBA(Master of Business Administration)
- 所 在 地：〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山3-1-46
- 入 学 時 期：春学期(4月)、秋学期(10月)
- 標準修業年限：2年(長期履修生制度あり)
- 募 集 人 員：80名
- 開 講 形 態：平日(昼・夜間)及び一部の土曜日(昼間)
- 学 費：入学金20万円、授業料240万円、施設設備金40万円 (1年目:160万円・2年目:140万円・総額300万円)
- 研 究 所：新潟地域活性化研究所、国際公共政策研究所

アドミッションポリシー(入学者受入方針)

事業創造大学院大学では、独立したベンチャー企業の創業や組織内での新規事業の創造・経営などに明確な問題意識を持ち、確固たる目的意識を有する人材を受け入れます。

そのため、社会人として職務経験を有する者の他、起業に対する熱意にあふれ成績優秀な現役学生も受け入れ対象としています。選抜にあたっては、経済や企業経営の分野に関する学力試験を行うほか、面接試験を通じて独立起業や組織内事業創造に対する熱意や適性を有する人材であるか否かを判断します。

事業創造大学院大学が主たる対象として想定するのは、次の5つのタイプの方々です。

1. 社会での豊かな経験を有しベンチャー企業の創業を志す人材
2. 企業・官公庁等から派遣され新規事業開発や組織変革を担う人材
3. 高い意欲と基礎学力を有し将来の起業を目標にした新卒者
4. 日本企業や日本に関連する国際的な新規事業への従事や起業を志す留学生
5. 事業承継者

カリキュラムポリシー(教育課程編成方針)

1. 基本的考え方
事業創造大学院大学では、独立起業や組織内事業創造を担いうる人材およびビジネスのグローバル化に対応できる起業家等の人材を育成するためのカリキュラムを編成しています。基礎段階から発展的な内容へと幅広い科目を体系的に学ぶことが可能な教育プログラムを提供し、アントレプレナーシップの涵養と実践的な能力の育成を目指します。
2. カリキュラムの枠組み
 - (1) 基礎科目群
独立起業または組織内事業創造を企てる人に必要とされる経営に関する基礎的な知識を身につける科目です。
 - (2) 発展科目群
アントレプレナーシップの発揮に必要な素養を身につけるため、専門的かつ実践的な5分野にわたる科目を配置しています。5分野として、経営戦略分野、財務・金融分野、情報・技術分野、アントレプレナーシップ分野、事業環境分野があります。
 - (3) 演習科目
少人数によるゼミナール形式の「演習」を通して実効性ある「事業計画書等、専門職成果報告書*」を作成することにより事業創造を実践的に学びます。 ※専門職成果報告書:事業計画書、プロジェクト報告書、研究論文

ディプロマポリシー(学位授与方針)

事業創造大学院大学では、起業家および組織内事業創造を担う人材の育成を目的としてカリキュラムを編成しています。したがって、これらの人材に必要な基礎知識及びアントレプレナーシップの発揮に必要な専門的かつ実践的な知識を修得して所定の単位を取得するとともに、実効性のある事業計画書等、専門職成果報告書を作成して審査で合格したものに対して経営管理修士(専門職)の学位を授与します。

入学試験の概要

出願資格

次の(1)～(10)のいずれかに該当する方が出願対象者です。

- (1) 日本の大学を卒業した者および卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条の第4項の規定により、学士の学位を授与された者および授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を日本において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および修了見込みの者
- (5) 日本において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者および修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および授与見込みの者(中国の3年制大学(専科)卒業生は対象外)
- (7) 高度専門士の称号を付与された者および付与見込みの者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および修了見込みの者
- (10) 出願時点において企業・団体等における2年以上の実務経験を有し、本学において個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認め、入学時点において22歳以上の者

外国籍の方は、日本語能力試験N2以上の資格、または日本留学試験の「日本語」科目(記述式試験を除く)において220点以上に相当する日本語能力を有することが必要です。

入学試験種類・方法・対象

種類	方法				対 象
	書類 審査	記述式 試験	課題 審査	面接 試験	
企業・団体等推薦入試	○			○	2年以上の実務経験を有し、かつ出願時点で所属する企業や法人、官公庁等から推薦を受けた方
社会人入試	○	△	△	○	2年以上の実務経験を有する方
一般入試	○	△	△	○	実務経験が2年未満で、推薦入試に該当しない方
交流協定校推薦入試	○			○	本学と交流協定を締結した大学を卒業して5年未満(または卒業見込み)で、かつ大学から推薦を受けた方
指定校推薦入試	○			○	本学が指定する大学を卒業して5年未満(または卒業見込み)で、かつ大学から推薦を受けた方

※入学試験方法の○印が実施する試験です。△印は選択して実施する試験です(外国籍の方は選択できず記述式試験が必須です)。詳細は本学入試事務室までお問い合わせください。

入学試験日程

●2020年10月(秋学期)入学

	出願受付期間	入学試験日	合格発表日
第1次	2020年6月16日(火)～6月24日(水)	7月4日(土)	7月8日(水)
第2次	2020年7月14日(火)～7月22日(水)	8月1日(土)	8月5日(水)
第3次	2020年8月18日(火)～8月26日(水)	9月5日(土)	9月9日(水)

●2021年4月(春学期)入学

	出願受付期間	入学試験日	合格発表日
第1次	2020年8月18日(火)～8月26日(水)	9月5日(土)	9月9日(水)
第2次	2020年10月13日(火)～10月28日(水)	11月7日(土)	11月11日(水)
第3次	2020年11月10日(火)～11月25日(水)	12月5日(土)	12月9日(水)
第4次	2020年12月22日(火)～2021年1月8日(金)	1月16日(土)	1月20日(水)
第5次	2021年1月20日(水)～2月8日(月)	2月13日(土)	2月17日(水)
第6次	2021年2月10日(水)～3月1日(月)	3月6日(土)	3月10日(水)
第7次	2021年3月10日(水)～3月22日(月)	3月25日(木)	3月29日(月)

※外国籍の方は、第7次入試が受験できない場合があります。入試事務室までお問い合わせください。

入学試験に関しては、必ず「学生募集要項」を参照してください。不明な点は本学入試事務室までお問合せください。

本学公式SNS

